

千葉市教育委員会
教育長 磯野 和美 様

写

令和元年7月10日

大宮地区学校適正配置地元代表協議会

会長 廣瀬 圭介

副会長 石井 雅男

副会長 前田 誠

大宮小学校と大宮台小学校との統合に関する要望書

日頃より、大宮地区の子どもたちのためにご尽力いただき、感謝申し上げます。

さて、当地区では平成31年1月19日に地域運営委員会、関係自治会、青少年育成委員会、PTAなど学校に関わる様々な団体の代表者からなる「大宮地区学校適正配置地元代表協議会」を設立し、子どもたちのより良い教育環境を創るために、これまで5回にわたり、学校の適正配置について慎重な協議を重ねて参りました。

その結果、大宮小学校と大宮台小学校を統合するとの結論に至り、下記のとおり要望いたしますので取り計らいくださいますようお願い申し上げます。

記

1 大宮小学校と大宮台小学校の統合時期及び統合場所

(1) 統合時期

令和3年(2021年)4月1日に統合校として開校すること。

(2) 統合場所

統合校は、現大宮小学校の位置とすること。

2 教育環境の整備

(1) 地域とともにある学校づくりについて

統合後の学校と地域の関係が希薄化することのないよう十分に配慮すること。

(2) 通学路の安全確保について

安全指導員の配置、セーフティウォッチャー等による見守り活動の実施など、適切な対策を行うとともに、通学路の整備について、関係機関との連携を図ること。また、通学距離が遠くなる児童への対応について、具体的な方策を協議すること。

(3) 学校施設の整備充実について

大宮小学校は耐震工事やトイレの改修工事がすでに施されているが、施設状況に応じて必要な修繕を行うこと。

(4) 教職員の配置について

統合前の教職員をバランスよく配置し、統合に伴う教職員を加配するなど、円滑な移行と安定した学校運営が行われるよう教職員配置を行うこと。

(5) 子育て関連施策との連携について

学校教育や子どもの生活に密接な事業・活動について、関係機関と十分に連携を図り、円滑な移行を図ること。

(6) 両校による統合準備について

統合準備会を設置し、両校の円滑な統合に配慮した具体的な準備を進めること。

3 今後の大宮地区の小中学校のあり方

大宮中学校を存続し、生徒数・学級数の推移を見守りながら、全校3学級になる場合に小中一貫教育校化等を含め、改めて検討すること。

